

## 岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）制度の 2024 年度実施について

### 1. 趣旨・目的

本学は、岡山大学ビジョン 3.0 として、「ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」を掲げ、2050 年に描く長期ビジョンとして「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」を示しています。

こうした大学としての取り組みと呼応した学内の教職員や本学学生グループによる SDGs 推進のための取り組みを奨励し、学内での SDGs 普及推進に寄与することを目的として、2020 年度に岡山大学 SDGs 推進表彰制度を創設し、2024 年度も引き続き実施する。

### 2. 表彰対象

学内教職員や本学学生グループによる SDGs 推進を意識した取り組みを対象とし、学内公募により募集を行う。取組実施者に学内教職員や本学学生グループが含まれていれば、学外の個人・団体等との協働による取り組みも対象とする。ただし、表彰者は学内教職員や本学学生グループとする。

なお、昨年度応募された取り組みも、さらに取り組みを改善していたり、新たな成果等がある場合は、応募可能とする。

### 3. 実施時期及び内容

2024 年度は 6 月に募集を開始し、10 月上旬を締切りとする。表彰は、1 2 月以降随時行う。特に優秀な取り組みについては、予算の範囲内で、本学教職員については活動奨励金（予算配分）を、本学学生グループについては図書カード等を、それぞれ贈呈する。

### 4. 募集方法と募集分野

学内に向けに公募を実施し、各部局でとりまとめて SDGs 推進本部長宛に提出する。学生グループによる応募先は、直接、SDGs 推進本部（研究・イノベーション共創管理統括部 社会共創課）とする。部局ごとの提出件数の制限や順位づけ等は求めない。

募集分野と各分野の応募対象者は下記のとおりとし、申請書の記載言語は日本語又は英語とする。

- 1) 教育分野：本学教職員の個人又はグループ
- 2) 研究分野：本学教職員の個人又はグループ
- 3) その他職場貢献等分野：本学教職員の個人又はグループ
- 4) 学生グループ分野：本学学生グループ

(2人以上でサークル・研究室単位も含む)

- ※ 1) ~ 3) のグループには本学学生が含まれていても構わない
- 1) ~ 4) のグループには学外の個人・団体が含まれていても構わない
- 4) は学生個人による応募は認めないが、学外の個人・団体と協働している場合は応募しても構わない

## 5. 被表彰者の決定

被表彰者は、学内公募により求める応募書類の提出があった者のうちから、SDGs 推進企画会議の選考を経て、下記のとおり SDGs 推進本部で決定する。

優秀賞 各分野 1 件程度

- 1)、2) は表彰状、記念品及び活動奨励金 (1 件 20 万円以内)
- 3) は表彰状、記念品及び活動奨励金 (1 件 10 万円以内)
- 4) は表彰状、記念品及び図書カード等 (1 件 5 万円以内)

奨励賞 表彰状及び記念品

## 6. 審査基準

- ◎ 国連が定めた SDGs の達成に寄与する取り組みであるか
  - ◎ 岡山大学ビジョン 3.0 及び長期ビジョンの実現に寄与する取り組みであるか
  - ◎ サステナビリティ (持続可能性) を有し、多様な人々のウェルビーイング (心身ともに満たされた幸福な状態) に資する取り組みであるか
- 審査観点としては①~⑤の5つの観点とするが、3) と4) については①を必須とし、②~⑤から2つ以上を選択できることとする。

- ①SDGs 達成への貢献度
- ②新規価値の創造性 (創造可能性)
- ③多様なステークホルダーとの協働性
- ④取り組みの持続可能性
- ⑤多様な人々のウェルビーイング向上を目指す包摂性

## 7. その他

本表彰制度に応募された取り組みは、本学 SDGs サイトの取組事例への掲載等、本学 SDGs の広報や普及推進のため活用する。

## 岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）募集要項

### 1. 趣旨・目的

本学は、岡山大学ビジョン 3.0 として、「ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」を掲げ、2050 年までに描く長期ビジョンとして「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」を示しています。これらの達成に向けて、学内における SDGs 推進のための取り組みを奨励し、そうした取り組みの普及推進に寄与するため、岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）を実施します。

### 2. 募集内容

学内教職員や本学学生グループによる SDGs の達成を意識した取り組みを以下の 4 分野に分けて募集します。

応募時点で実施している取り組みを対象とし、昨年度応募した取り組みについても、取り組み内容の改善や新たな成果等がある場合は、その旨を記載して応募してください。

#### 1) 教育分野

本学教職員の個人又はグループ（本学学生や学外者を含んでも構いません）による SDGs の達成を意識した教育活動

例：本学学生に向けた SDGs 関係の講義の実施

一般市民に向けた SDGs 関係の公開講座等の実施

SDGs の達成に資する人材育成のための教育の実施 など

#### 2) 研究分野

本学教職員の個人又はグループ（本学学生や学外者を含んでも構いません）による SDGs の達成を意識した研究活動

例：先進的材料科学とナノテクノロジー、農業系化学、Society5.0 を支える ICT、革新材料・次世代デバイス技術、環境保全・環境修復技術、地域研究・政策研究といった SDGs に貢献するイノベーション領域の研究 など

#### 3) その他職場貢献等分野

本学教職員の個人又はグループ（本学学生や学外者を含んでも構いません）

による SDGs の達成を意識した業務上の活動

例：ダイバーシティに配慮した働き方改革や環境改善等の取り組み  
教育研究支援・環境整備等の取り組み

省エネ・省資源・脱炭素等を意識した業務改善等の取り組み など

#### 4) 学生グループ分野

本学学生グループ（2人以上でサークル・研究室単位も可、本学教職員や学外者を含んでも構いません）による SDGs の達成を意識した活動

例：サークル等で取り組んでいる環境保全活動（清掃・リサイクル等）

研究室等で取り組んでいる社会課題解決に向けた調査・提言・実践等

小・中・高校生が取り組む SDGs 活動への支援

学外団体が行う SDGs 活動への協力や協働 など

### 3. 応募方法

募集要項を確認の上、申請書等に必要事項を記載し、募集期限までに、申請者（又は申請代表者）が所属する部局ごとで取りまとめて、下記応募先に電子データで提出してください。ただし、分野4)については、申請代表者が直接下記応募先に電子データで提出してください。申請書等の使用言語は、日本語又は英語とします。

申請書等を受領した場合は、翌営業日中に受領メールを送信します。受領メールの送信がない場合は、お手数ですが、下記応募先まで電子メールにてご連絡ください。

<応募先> SDGs@adm.okayama-u.ac.jp

※応募の際の件名は「岡山大学 SDGs 推進表彰応募」としてください。

### 4. 募集期限

令和6年10月11日（金）

### 5. 表彰

応募のあった取り組みの中から、優秀賞（各分野1件程度）と奨励賞を、SDGs推進本部にて決定し、表彰します。

優秀賞受賞者又は受賞グループには、賞金等として、教育分野・研究分野には 20 万円、その他職場貢献等分野には 10 万円の活動奨励金（予算配分）を、学生グループ分野には 5 万円分の図書カードを、それぞれ贈呈します。また、表彰された取り組みを発表する場を設ける予定です。

## 6. 審査

審査は以下の 5 つの観点で行いますが、業務分野と学生グループ分野については、①と②～⑤のうち選択した 2 つ以上の観点（合計 3 つ以上の観点）で行います。

- ①SDGs 達成への貢献度
- ②新規価値の創造性（創造可能性）
- ③多様なステークホルダーとの協働性
- ④取り組みの持続可能性
- ⑤多様な人々のウェルビーイング（心身ともに満たされた幸福な状態）を目指す包摂性

## 7. その他

本表彰制度に応募された取り組みは、申請書別紙の内容をもとに、本学 SDGs サイトの取組事例への掲載や本学 SDGs の広報や普及推進のため活用します。

応募にあたって不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせください。

<お問合せ先>

岡山大学 SDGs 推進本部

（研究・イノベーション共創管理統括部 社会共創課）

TEL : 086-251-8491

E-mail : SDGs@adm.okayama-u.ac.jp

## 岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）審査要領

岡山大学 SDGs 推進表彰（President Award）の審査にあたっては、提出された申請書（別紙を含む）に記載の内容をもとに、本要領に基づき、SDGs 推進企画会議メンバーが審査を行い、SDGs 推進本部において表彰者を決定する。

### 審査基準

- ◎国連が定めた SDGs の達成に寄与する取り組みであるか
- ◎岡山大学ビジョン 3.0 及び長期ビジョンの実現に寄与する取り組みであるか
- ◎サステナビリティ（持続可能性）を有し、多様な人々のウェルビーイング（心身ともに満たされた幸福な状態）に資する取り組みであるか

### 審査観点

- ①SDGs 達成への貢献度
- ②新規価値の創造性（創造可能性）
- ③多様なステークホルダーとの協働性
- ④取り組みの持続可能性
- ⑤多様な人々のウェルビーイング（心身ともに満たされた幸福な状態）を目指す包摂性

※ただし、業務分野及び学生グループ分野においては①とそれ以外から選択した2つ以上の観点で審査する

審査観点	審査の視点	申請書関連 項目	点数
①SDGs 達成への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs を理解し、その達成に貢献しようとする取り組みであるか</li> <li>・取り組みの成果として、SDGs 達成に貢献しているか。また、今後貢献しようとするものであるか</li> <li>・KPI や達成期限等が明確な取り組みであるか</li> <li>・SDGs 達成への貢献にあたり、本学ならではの独自性を有する取り組みであるか</li> </ul>	(6)、(7)、 (8)、(9)	10
②新規価値の創造性 (創造可能性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決にあたり、新たな価値や方法を生み出そうとする取り組みであるか</li> <li>・創造しようとする新規価値は、独自性や今後普遍的な価値となりうる可能性を有しているか</li> </ul>	(6)、(8)、 (10)	5
③多様なステークホルダーとの協働性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なステークホルダーと協働で実施される取り組みであるか</li> <li>・取り組みの成果が多様なステークホルダーに共有されるものであるか</li> </ul>	(6)、(8)、 (11)	5
④取り組みの持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して行える取り組みであるか</li> <li>・取り組みの継続にあたり、課題の分析やその対応を適切に行おうとしている取り組みであるか</li> </ul>	(6)、(8)、 (12)	5
⑤多様な人々のウェルビーイング（心身ともに満たされた幸福な状態）を目指す包摂性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人々と成果を共有する取り組みであるか</li> <li>・取り組みにより不利益を被る人々に配慮した取り組みであるか</li> </ul>	(6)、(8)、 (13)	5

上記観点に基づき、SDGs 推進企画会議メンバーが点数付けを行い、総合得点（各メンバーの合計点）上位の取り組みを対象として、優秀賞及び奨励賞の候補を選出し、SDGs 推進本部において、各賞を決定する。